

説教余滴

『メガファイアの時代』

日本では台風、アメリカではハリケーンが襲来する時期となりました。地震などと並んで自然災害の代表的なものです。それ以外にも、山火事があります。

アメリカ西部のカリフォルニア州では落雷などが原因とみられる山火事が、過去最悪の規模で燃え広がり、これまでに7人が死亡しました。

州によりますと今も、東京都の面積の2倍以上にあたるおよそ50万ヘクタールで火災が続いています。先週、625カ所で山火事が発生。ニューソム州知事によると、夜中に300回近くの落雷があり、10カ所で火災が起きています。

消防当局者は「われわれはメガファイア（大規模森林火災）の時代に生きている」とコメント。中でも被害が深刻なサンフランシスコのベイエリアでは、建物の被害はおよそ1400棟にも及び、およそ24万人の住民に避難指示が出されました。しかしコロナ感染症拡大阻止を考え、避難所設置をためらう自治体もあるそうです。

日本は地震や台風、豪雨といった「災害大国」だが、山火事も毎年相当な数発生しています。

近年、大規模だった山火事には、次のようなものがあります。まず、2002年4月に岐阜市で発生した権現山一帯での森林火災。発生から27時間で、約410ヘクタール（東京ドーム約87個分）に延焼。1160世帯、3613人に避難勧告が出されたが、幸い死者は出なかった。

東京都三宅村では12年11月に156ヘクタールが延焼、85世帯に避難勧告が発令された。また、岩手県釜石市で17年5月に発生した山火事では、400ヘクタール以上が焼けています。炎は住宅地にまで広がり、136世帯に避難勧告が出されました。カリフォルニアは落雷が原因。日本では、たばこの不始末、焚火、火入れ等が挙げられます。放火もありますが、多くは不注意によるものです。